

## 3.2 就職（企業との関わり）について

### (1) 奈良高専卒業生向け再就職支援

本校では、奈良県内企業を中心に卒業生の再就職支援に取り組んで約3年となる。その間、着実に実績を積み重ね、約3年間で累計11名（内、県内9名）の再就職が決まった。

#### 1) 奈良県と連携した奈良県内企業への再就職支援

本校は、奈良県産業・雇用振興部 雇用政策課と連携し、平成28年度より卒業生の県内再就職支援に取り組んでいる。一度は県外の企業に就職したが、事情があつて奈良県内への再就職を希望する本校卒業生や子育てが一段落し県内での就労復帰を目指す卒業生を対象に、奈良県産業・雇用振興部 雇用政策課と連携し、奈良県ホームページ上で奈良高専卒業生向け県内再就職支援の紹介ページを立ち上げ、再就職を希望する本校卒業生対象にメールアドレス登録システムを当該ページに構築するなど再就職支援体制を充実させてきた。本登録システムや地域創生科目を通じて協力関係にある県内企業との連携を通じ、これまでに卒業生6名の県内企業への再就職が決まり（内、令和元年度は1名）着実に成果をあげている。



図1 奈良県作成の県内再就職支援チラシ

## 2) 奈良高専地域イノベーションコンソーシアム会員企業と連携した再就職支援

本校のある奈良県と魅力ある企業を多く抱える周辺の大阪府・京都府等を対象に、本校が窓口となり、再就職を希望する卒業生と奈良高専地域イノベーションコンソーシアム会員企業との間で連携をはかり再就職支援に取り組んでいる。これまでに（令和2年2月末現在）5名（内、県内再就職3名）の卒業生の再就職が決まった。

内定が決まった卒業生からは、本再就職支援に対する感謝のコメントも寄せられた。

<b>Aさん（電気工学科卒）</b>	<b>内定企業：製造業</b>	<b>所在地：京都府</b>
--------------------	-----------------	----------------

1. 「奈良高専卒業生向け再就職支援」に登録したきっかけ、動機を教えてください。

→登録したきっかけとしては、専攻科に進学した友人からホームページの存在を教えてください、登録をしました。そういった意味で言えば、友人がいなければ存在を知ること出来なかったのも、横のつながりの交友関係も大切なことと実感しました。

2. 登録してから希望企業に就職内定を頂くまでのプロセスについて教えてください。

→ホームページに載っている図の通り進んでいきました。希望企業との最初の面談は奈良高専の担当者同行していただけたので、スムーズに話を進めることが出来ました。その後の面接、試験に関しては企業ごとに違うと思いますが、私の場合は、一次面接と筆記試験、後日二次面接を行い、内定をいただくことが出来ました。

3. 再就職先として、どのような点を重視しましたか。

→自分に向いているかどうかという点を重視しました。奈良高専の担当職員から直接、色々な企業の話を聞けるので、インターネット上だけでは分からないことも知ることが出来ます。そういった部分が判断材料の一つになると思います。

4. 就職担当職員が同行し、希望企業へ訪問した際の感想はいかがでしたか？

→インターネットの情報だけでは知れることにも限界はあると思うので、実際に会社を見学し、お話を伺うことは大切だと思います。集団で行う会社見学と違い、一対一で対応して頂けるので、自分の気になった所など質問しやすい環境でした。

5. これから「奈良高専卒業生向け再就職支援」に登録を考えている卒業生に向けて、アドバイスをお聞かせください。

→転職をするとなると、自分の環境が大きく変化してしまいますし、躊躇してしまう気持ちもあると思います。奈良高専の再就職支援では、担当職員とじっくり話をすることも出来ますし、自分の希望することをしっかりと伝えれば失敗するリスクは減らせると思います。普通に転職をするより良い結果に繋がるとも思いますので、ぜひ再就職支援を活用していただけたらいいのではと思います。

<b>Bさん（物質化学工学科卒）</b>	<b>内定企業：製造業</b>	<b>所在地：奈良県</b>
----------------------	-----------------	----------------

1. 「奈良高専卒業生向け再就職支援」に登録したきっかけ、動機を教えてください。

→高専時代の寮生の同級生たちに教えてもらいました。自分一人では気づけなかったと思うので、学生時代勉学ももちろんですが、課外活動にも力を入れ信頼できる仲間を作っておくことが大事だと感じました。

2. 登録してから希望企業に就職内定を頂くまでのプロセスについて教えてください。

→私は奈良県との共同事業で最終的に再就職を決めたのですが、僕の経歴を細かく聞いていただき、スキルに見合った企業様を斡旋していただきました。一次面接、最終面接とありましたが、一次面接には県の職員様も同行していただき、大変心強かったです。

3. 再就職先として、どのような点を重視しましたか。

→一番は自分の適性にあった仕事に就けるかどうか考えました。僕は物質化学工学科出身なので、この知識を生かした職(研究開発や品質管理)につきたいと考えておりましたので、そのような企業様を斡旋していただきました食糧や奈良県には大変感謝しております。

4. 就職担当職員が同行し、希望企業へ訪問した際の感想はいかがでしたか？

→正直なところ、勉学の知識面で同行していただいた先生方や企業様に、私の知識のなさから迷惑をかけてしまうかどうかという心配はありました。しかしそれ以上に、企業見学に私だけでなく先生方が来てくださること、とても心強かったです。

5. これから「奈良高専卒業生向け再就職支援」に登録を考えている卒業生に向けて、アドバイスをお聞かせください。

→再就職の決断をすることは非常に勇気がいることかと思えます。しかし人生は一度きりしかないで、迷うくらいなら、まずは登録してみて、他の企業様のお話を聞いてみるのもいいかと思えます。案ずるより産むが易しです。皆様再就職がうまくいきますよう願っております。

図2 再就職内定者のコメント紹介（本校ホームページ）

## (2) 奈良県と連携した県内雇用促進・人材定着に向けた取り組み

### 1) 『県内企業と奈良高専教員との交流会』開催（奈良県主催）

本校ではCOC+事業の一環として県内企業との交流深化に取り組んでいる。今年度で4回目となる「県内企業と奈良高専教員との交流会」（奈良県主催）を令和2年2月7日（金）、奈良県文化会館2階小ホールにて開催し、県内企業18社（30名）、本校教員15名が参加した。第一部では、参加企業が5つのグループに分かれ、本校各学科（機械工学科、電気工学科、電子制御工学科、情報工学科、物質化学工学科）の教員が20分ごとに各グループを回り、それぞれのグループで情報・意見交換を行った。第二部では、各学科教員が学科毎に分かれ、参加企業が自由に学科教員のところへ行き、情報・意見交換を行った。各学科の最近の進路状況や研究内容の紹介にはじまり、採用後の高専生の待遇や企業PR、本校が企業に求めることなど、様々な視点から活発な意見が交わされた。今回もこれまで同様、和やかな雰囲気の中で活発な情報交流を通じ本校と参加企業との間で相互信頼を高めることができた。



写真1 「県内企業と奈良高専教員との交流会」風景（左：第一部、右：第二部）

### 2) COC+3校合同『県内企業見学会』を実施（奈良経済同友会・南都銀行主催）

令和元年9月26日（木）、奈良経済同友会・南都銀行主催によるCOC+3校（奈良女子大学、奈良高専、奈良県立大学）合同『県内企業見学会』を開催した。当日は3校の学生計18名が参加し、3校教職員5名、奈良経済同友会関係者1名が引率し、県内企業3社（ディライト株式会社、DMG森精機株式会社、名阪食品株式会社）を1台のバスで順次訪問し企業を見学した。サービス業、製造業、食品業というそれぞれ異なった3業種の魅力ある企業を知ることができた。



写真2 県内企業見学会風景

（左：ディライト株式会社、中央：DMG森精機株式会社、右：名阪食品株式会社）

### 3) COC+3 校合同『県内企業見学会』本年度第2弾を実施（奈良県主催）

令和2年2月14日（金）、奈良県主催でCOC+3校（奈良女子大学、奈良高専、奈良県立大学）合同『県内企業見学会』を開催した。当日は、3校の学生28名が参加、3校教職員7名、奈良県雇用政策課職員2名が引率し、Aコース、Bコースに分かれ、製造業を中心とした県内企業6社（Aコース：株式会社伊藤金属製作所、株式会社ヒラノテクシード、ニチアス株式会社王寺工場 Bコース：三笠産業株式会社、西垣靴下株式会社、梅乃宿酒造株式会社）をバスにて順次訪問し企業見学を行った。各社では、学生たちが会社紹介を受けた後、工場や職場を見学し、企業の方々と質疑応答を行うなど企業と学生との交流を深めた。実際の企業現場を体験することで県内企業の魅力を発見する良い機会となった。



写真3 「県内企業見学会」Aコースの風景

（左上：株式会社伊藤金属製作所、右上：株式会社ヒラノテクシード、  
左下：ニチアス株式会社王寺工場）



写真4 「県内企業見学会」Bコースの風景

（左上：三笠産業株式会社、右上：西垣靴下株式会社、左下：梅乃宿酒造株式会社）